

第 60 回総務委員会議事要録

日 時： 2022 年 11 月 19 日(土) 13：00～16：30

場 所： Web 会議

出席者： 山口進会長, 他 12 名

1. 審議事項

- ・第 49 回冬期講習会のプログラムと参加方法について報告された。
- ・OPJ 2023 の開催案について議論された。
- ・第 48 回光学シンポジウムの準備の進捗状況について報告された。
- ・2023 年度の年間テーマについて議論された。

2. 報告事項

- ・OPJ 2022 の開催報告
- ・「光学」, 「Optical Review」の現況について
- ・会員数の推移について

光設計研究グループ第 73 回研究会「微細構造の可能性」

近年、微細構造を活用したさまざまな光学システムが開発されており、従来のレンズでは達成できない機能や小型化などの高い付加価値を生み出しています。本研究会では、そのような微細構造のシミュレーション手法や設計、デバイスの事例に関するご講演を予定しています。

期 日： 2023 年 4 月 14 日(金)

場 所： オンライン (Zoom)/ belle 関内 601 (横浜市中区蓬萊町 1-1-3) のハイブリッド

主 催： 日本光学会光設計研究グループ

協 賛： 応用物理学会 (予定)

参加費： 光設計研究グループ個人会員 4,000 円, 光設計研究グループ学生会員無料, 日本光学会および共催・協賛団体個人会員 8,000 円, 光設計研究グループ賛助会員企業 8,000 円, 一般 10,000 円, 日本光学会および共催・協賛団体学生会員 1,000 円, 学生一般 2,000 円

参加申込： 下記 URL をご参照ください。

問合せ先： パナソニックホールディングス 庄林寛幸

E-mail k73@opticsdesign.gr.jp

URL <http://www.opticsdesign.gr.jp/>

精密工学会第 429 回講習会「熟練者の技能伝承のデジタル化～最先端技術から応用事例まで～」

本講習会では最先端のデジタル技術を活用した技能伝承に着目し、技能の形式知化や技能習得支援、人材育成などにおけるデジタル化やデジタルツールの利活用についてご紹介頂きます。

期 日： 2023 年 5 月 16 日(火)～6 月 2 日(金)

場 所： オンライン開催 (オンデマンド形式)

主 催： 精密工学会

協 賛： 日本光学会, 日本機械学会ほか

参加費： 協賛会員 22,000 円, 協賛学生会員 2,000 円, 非会員 36,000 円

参加申込： <https://www.jspe.or.jp/wp/wp-content/uploads/course/429.pdf>

申込期限： 2023 年 5 月 30 日(火)

問合せ先： 精密工学会講習会係

E-mail jspe_koushu@jspe.or.jp

URL <https://www.jspe.or.jp/>

JOEM 技術講座「関連とフーリエ変換で理解できる光学機器」

日 時： 2023 年 5 月 16 日(火) 10：00～16：00

場 所： ハイブリッド (対面+オンライン) 形式での開催。(対面は機械振興会館別館 4 階日本オプトメカトロニクス協会研修室, オンラインは Microsoft Teams を使用)

主 催： 日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会, 日本光学工業協会, 光産業技術振興協会

参加費： 協賛 44,880 円 (テキスト・消費税含む)

定 員： 25 名 (うち対面は先着順 10 名)

申込期限： 2023 年 5 月 8 日(月)

問合せ先： 日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 news の掲載申込先：

日本光学会 光学広報担当 E-mail koho@myosj.or.jp

メールの件名に「日本光学会 news 原稿」と記載してください。

なお、掲載申込は原則として発行日（10日）から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「レーザー研究」第51巻第2号（2023年2月号）目次

「グリーンイノベーションに向けた放射場制御技術」特集号

レーザーコンパス

若い研究者・技術者の育成へ……………石澤 淳 (65)

《特集》

レーザー解説

「グリーンイノベーションに向けた放射場制御技術」特集号によせて……………角屋 豊 (66)

ナノ・マイクロ構造による熱放射制御の原理 ……高原淳一 (68)

フォトニックナノ構造による熱放射制御と熱光発電への展開

……………井上卓也, 末光真大, 浅野 卓, 野田 進 (76)

放射冷却とゼーベック効果による24時間発電可能な環境発電

……………石井 智, 長尾忠昭 (82)

均一な熱放射環境におけるメタマテリアル熱電変換

……………久保若奈, 田中拓男 (87)

透明な放射冷却材料と環境発電素子への応用

……………梶川浩太郎 (92)

プラズモニクスに基づく III-V 族窒化物半導体の高効率緑色発光

……………岡本晃一, 垣内晴也, 亀井勇希, 松山哲也,

和田健司, 船戸 充, 川上養一 (97)

レーザーフラッシュ

光とレーザーの科学技術フェア2022報告—光技術で飛躍する

日本へ……………石橋爾子 (103)

著者紹介 (105)

セルフフォーカス (107)

レーザーカレンダー (113)

「応用物理」第92巻第4号（2023年4月号）予定目次

総合報告

Evolution of combinatorial materials science: From synthesis of large scale libraries to AI-driven materials discovery
…………… Ichiro TAKEUCHI

解説

元素集積化学を駆使した無機ナノ触媒材料の創製……………山内美穂
光量子コンピュータの新時代—ループ型を中心として

……………武田俊太郎

最近の展望

散乱・揺らぎ場の包括的理解に向けた透視イメージング
…………… 的場 修, 栗辻安浩

研究紹介

コンビナトリアル技術による機能性無機粉体材料の探索
…………… 藤本憲次郎, 相見見久

水蒸気のみで実現するアルミニウム合金の多機能化……………芹澤 愛

基礎講座

SIMS 測定のためのプラスαの研究技術…………… 松尾二郎

ホッとひといき

NIMS の人材採用と評価…………… 磯部雅朗

魅力的な科学イラストを描くコツ…………… 辻野貴志

Science As Art

手作りの光共振器…………… 安西春樹

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2023年2月28日現在の本会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

株式会社朝日ラバー	株式会社タムロン
アンシス・ジャパン株式会社	チームオプト株式会社
ウシオ電機株式会社	中央精機株式会社
株式会社 AAC Technologies Japan R&D Center	株式会社東芝
株式会社エクモス	株式会社東精エンジニアリング
株式会社エンプラス研究所	株式会社トプコン
オーウエル株式会社	株式会社ナック イメージテクノロジー
オプトシリウス株式会社	株式会社ニコン
株式会社オプトロニクス社	株式会社ニデック
オリンパス株式会社	一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会
キャノン株式会社	日本シノプシス合同会社
京セラ SOC 株式会社	パナソニックホールディングス株式会社
株式会社清原光学	浜松ホトニクス株式会社
株式会社光学技研	株式会社日立製作所
興和株式会社	華為技術日本株式会社
株式会社五藤光学研究所	Phase One Japan 株式会社
コニカミノルタ株式会社	富士フイルム株式会社
株式会社三恵舎	古野電気株式会社
株式会社シグマ	三菱ケミカル株式会社
株式会社スカイテクノロジー	株式会社リコー
ソーラボジャパン株式会社	

以上 会員数 41 社, 56 口 (五十音順)
